

関西大学創立130周年記念事業

第24回 高槻ミュージーズキャンパス 公開講座

テーマ 超変革!? 鉄道駅の安全対策

関西大学は2016年11月4日、創立130周年を迎えます。

また、社会安全学部は設立7年目となり、高槻ミュージーズキャンパス公開講座も今回で第24回目となりました。

今回は、「超変革!? 鉄道駅の安全対策」を総合テーマに、ホームからの転落や列車との接触など、

さまざまな「危険」から皆さまの身を守るために工夫されている安全対策をご紹介します。

また、そういった「危険」に遭遇した場合をコンピューター・シミュレーションで疑似体験し、

もしもの時の対策を考えていただける良い機会となっております。

皆さまのご参加をお待ちしております。

日時

2016年11月12日(土) 10:00~13:00
(開場・受付 9:30~)

会場

関西大学 高槻ミュージーズキャンパス
西館3階 M303教室

大阪府高槻市白梅町7番1号

定員

50名

講座

1

ホーム転落事故
ゼロを目指して
—高槻駅ホーム柵設置—

株式会社JR西日本テクシア
大阪昇降機センター 部長

古堅 俊光



講座

2

鉄道駅利用者の
安全を考える

関西大学社会安全学部 教授 川口 寿裕



超変革!?! 鉄道駅の安全対策

講座
1

ホーム転落事故ゼロを目指して —高槻駅ホーム柵設置—

株式会社JR西日本テクシア 大阪昇降機センター 部長 古堅 俊光

鉄道駅のホームから転落したり、ホーム上で列車に接触したり…という痛ましい事故が後を絶ちません。社会からのニーズと期待に応えるべく、JR西日本管内のホーム上安全対策を進める一環で、高槻駅の昇降式ホーム柵を今年3月に稼働開始させました。ホーム柵設置に至る経緯、機器仕様、準備作業、稼働後の状況をご紹介します。鉄道駅の安全性向上をいかに実現していくか、皆さんと考えていきたいと思っています。



講座
2

鉄道駅利用者の安全を考える

関西大学社会安全学部 教授 川口 寿裕

鉄道や駅を利用する人にも、時には「危険」が迫ります。酔っ払いや歩きスマホの人がホームから転落する事故を時々ニュースで見聞きすると思います。また、満員電車に乗っている時に何か起きてパニックになったら…。そんな状況を「体験」するのは危ないので、コンピューター・シミュレーションで疑似体験してみましょう。そしていざという時のヒントにしてください。



※事情により内容に変更が生じる場合があります。

申込み方法

関西大学高槻ミュージズキャンパス (ミュージズオフィス)
電話またはインターネット専用ページでお申込みください。

◎ 電話：072(684)4000 (平日/10:00~16:00)

◎ 「関西大学社会安全学部」ホームページの
「公開講座(第24回)開催のお知らせ」から
お申し込みください。

(URL)http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/

受付期間

2016年10月10日(月・祝)~11月11日(金)

※定員になり次第、申込み受付終了

受講料

500円 (資料代として当日、受付にてお支払いください)

お願い

- 車やバイクでのご来場はご遠慮願います。公共交通機関をご利用ください。
- キャンパス施設内は、全面禁煙です。ご協力をお願いいたします。

問合せ

関西大学 高槻ミュージズキャンパス (ミュージズオフィス)

TEL. 072(684)4000 [月~金 9:00~17:00]

会場：関西大学高槻ミュージズキャンパス



JR高槻駅から徒歩約7分 阪急高槻市駅から徒歩約10分